



〒160-0004

東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内

TEL 03-3355-3441 (代)

<https://www.jsce.or.jp/>



土木の魅力向上SNS配信中！



YouTube
@dobokuTV



Instagram
@dobokuTV



X (旧:Twitter)
@DBMR2023



TikTok
@dobokuTV



土木の魅力向上 に向けて



土木の魅力向上特別委員会

土木の魅力向上に向けての 会長メッセージ

2023年6月の会長就任以来、会長特別プロジェクトとして「土木の魅力向上プロジェクト」を立ち上げ、①魅力ある土木の世界の発信、②土木のステイタスアップに向けた取り組み、を2つの小委員会のもとで活動してまいりました。各小委員会の取組み内容や提案内容を踏まえ、「会長メッセージ」を発信いたします。

私がこの活動を通じて再認識したのは、土木に関係する皆様が



2024年6月
公益社団法人 土木学会
第111代会長
田中 茂 義

働きがいを感じ、いきいきと活躍できるような環境を整備することが会長としての使命ではないか、ということです。土木がその役割と重要性を社会から認知され、自分達もこのような魅力に富んだ土木の世界に入りたいとリスペクトされるような状況になったとき、土木技術者のやる気と働きがいはより大きなものとなり、土木のステイタスアップも実現するのだと思います。

1 土木の魅力発信は「全員リレー」で

あらゆる立場の方が、「自分の言葉で」土木の魅力をいきいきと発信するようにしましょう。そうすることで、土木の魅力をより広く社会に発信することができ、多くの担い手により、「技術のバトン」をつなぐことができると確信します。

2 土木史に学び、技術と志を伝承する

過去の優れた歴史的なプロジェクトや事例に学び、それらの技術と志を伝承し、次世代につなげていくことが重要です。新たな知見を得たり変革を実現するためには、過去の技術や技術者の歩みに注目することも必要と思います。現在の視点で過去の取組みを再評価し、次世代のイノベーションにつなげていきましょう。

3 個人の能力と業績を評価し、明示する

土木事業は匿名性が高く、なかなか個々の土木技術者の業績が見えづらい状況にあります。そこで、土木技術者個人に着目し、個人の能力と業績を世の中に示す方法を検討する必要があります。土木技術者個人が評価されること、また、土木技術者が相互承認できる場を作ること、土木技術者個人のステイタスアップが実現できるような制度を作りましょう。

4 教育現場への参画

次世代の土木技術者を育てるためには、教育現場において土木の認知度を上げることが必要です。また、将来の土木界をリードする人材を発掘するための環境づくりが重要と考えます。教育現場に様々な立場の土木に関係する方々が参画することを通じて、次世代や地域の方々などに「土木の魅力と凄さ」を伝え、土木のステイタスアップと担い手確保が実現できるように取組みましょう。

5 イノベーションで未来を創造する

自動化・無人化・リモート化やAIの活用により、建設の世界は変革の途上にあります。建設システム全体の変革により生産性向上と付加価値増大を図り、さらにはDXでイノベーションを達成して未来を創造してまいりましょう。また、土木はカーボンニュートラル(CN)やネイチャーポジティブへの貢献でも期待されており、土木の将来は大変明るいものと考えます。

終わりに

土木技術者は初代土木学会会長 古市公威先生のお言葉にある通り「将に将たる人」であり、皆様にはこの矜持を胸に土木の使命を存分に発揮していただきたいと思います。土木技術者としての志を持ち、総合工学としてのマネジメント力を生かして、将来にわたる人々のウェルビーイングに貢献していただきたいと思っています。

皆様には、イノベーションの先頭に立ち、未来を創造すべく活躍されんことを期待します。

土木の魅力を「発信する」

田中会長が自ら出演するコンセプトムービー

「自分の言葉で伝える土木」をテーマに、田中会長自らが語るムービー



自分の言葉で伝える土木



※ITVA日本コンテスト2023
社外コミュニケーション部門 金賞 受賞!

建設系YouTuberと会長の対談動画



カードゲーム「ドボ・シティ」の制作

中高生に土木のことを知ってもらい、土木の知識を広げることが目的に、委員会メンバー自らがデザイン・開発を担当したカードゲームを制作しました。



インフラカードのレベルアップや、台風・地震などの災害発から都市を守ることで、防災・減災の重要性を認識できます。

自分の言葉で土木の魅力を伝える

土木事業の計画・調査・設計・施工・利用する人に焦点を当て、各々に携わる人の思いが、土木構造物に込められていることを伝えるムービー「橋梁編」・「水道編」の2本を制作しました。



橋梁編



水道編

「インフラをつくる まるる 無数のバトン」
全ての土木は「バトンのリレー」によって出来上がっていることを表現したムービー。








土木を愛する人が、土木に強いやりがいを感じたり、心がときめく瞬間を表現する言葉として、「ドボキュン」という言葉を考え、それをテーマにしたムービー。(近日公開)

黒部川電源開発プロジェクトのアーカイブ

過去のプロジェクトをアーカイブする活動の一環として制作。黒部ダムが完成してから60年が経過しており、当時の施工のことを知るご高齢の方々の、貴重な体験談を収録した動画撮影を行いました。



体験談をお聞かせいただいた方々

 太田 資倫さん ・大成建設OB ・黒四の水圧管路・新黒三の高熱隧道を担当	 竹村 陽一さん ・関西電力OB ・ダム本体の設計を担当
 元田 弘さん ・熊谷組工区 ・笹島建設OB ・大町トンネルの労務管理等を担当	 渡辺 春男さん ・間組OB ・ダム本体の施工を担当
 後藤 一身さん ・大成建設工区 ・森崎班OB ・高熱隧道の施工を担当	

黒部の高熱隧道について語る 太田資倫さん

太田さんは若年時代、黒四、新黒三の現場に合計8年従事され、高熱隧道などの施工を経験されています。



土木のステイタスアップに向けた集中討議を実施

土木技術者のステイタスアップを目指す、環境づくりについての集中討議を、1泊2日で2回に渡って実施しました。



集中討議で話した提案内容

- ・外から見た土木、中から見た土木
- ・誰のためのステイタス?
- ・世代別・所属別に認識は違う
- ・そもそもステイタスは低い?
- ・他業種より土木のステイタスは低い?
- ・若い人たちの憧れになるには
- ・ステイタス=年取?
- ・土木の謙遜文化
- ・土木にはスターがいない

土木技術者であることの魅力を示す場として

- 研鑽の場 資格制度
- 承認の場 技術者データベース構築を通じて私たちのステイタスの見える化を提案

地域・次世代の土木の担い手確保をめざして

北海道、広島、岡山、新潟、東京、高知という全国各地で、教育委員会、小・中・高校・大学、一般女性グループなど12団体から広く情報収集を行い、併せて、土木の魅力についての啓発活動を進めました。



教育現場からは、今後の施策を考える多くの意見が寄せられました。



土木の仕事だけでなく、博士がいることなどを知っていただく機会ともなりました。

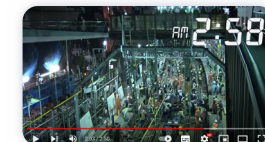
土木への関心が無いのではなく、土木がつくる環境は「あって当然」という一般の感触は、今後の発信への大きなテーマ。

すごい土木技術大賞

一般の優れた制作物から「土木技術(もの)と土木技師(ひと)の“すごさ”」を調査。高度な計画・設計・施工を映像化した78件を収集。大賞を選定しました。



東急東横線渋谷駅 地下化切換工事



切換当日のわずか3.5時間で工事が完了したことの一部始終がわかる映像。



中央線高尾駅 線路切換工事



整然と進捗する工事の様子だけでなく、関わる「人」にスポットをあてた密着ドキュメンタリー。

「すごい!大賞」として、ほか1件を選定。

土に親しむ1Day体験企画

土木分野や理系に関心のある高校生に向けた、体験型イベントを実施。一般公募された学生に2カ所の大学研究室で、実際に研究活動の体験をしていただきました。

東日本 早稲田大学 小峯秀雄教授
西日本 京都大学 澤村康生准教授

「土木とは何か?」というタイトルの講義を受けた後、「ソイルタワー作製実験」を体験。土木への興味や関心を深めてもらいました。



報告会 土木学会講堂



イベントに参加した関係者を集めた報告会を開催。参加した学生からは各々の研究室で学んだ内容についての発表や今後の展望が述べられました。最後に担当の2人の大学教員の講演がありました。

土木のステイタスアップ 小委員会の報告書を作成

「土木のステイタスをあげるために必要なことは何か」というテーマについて、各ワーキンググループに分かれ1年間に渡り活動した成果をまとめました。

